

たんぽぽ通信

Dandelions

2023. 5

始良市立加治木幼稚園便り

PHONE 62-2502

FAX 62-2524



季節をたっぷり味わって

園庭では、鯉のぼりが5月の風に乗って泳いでいます。年長組手作りのまん中の2匹が、特に元気よく泳いでいるようにも見えます。

この季節、子供たちの一番人気は、ツマグロヒョウモンの幼虫。園のプランターを徹底的に探して、飼育ケースにたくさん飼っています。「どの葉っぱを食べるのかなあ。」「あっ、うちたくさんしてる。」「動かなくなっちゃったよ。」「サナギだよ。」「ツマちゃんも喉が渇くから、水を飲ませてあげようか。」「ぼくは、あんまり好きじゃないから見とく。」など、子供たちは、幼虫に興味津々です。

何気ないことですが、友達と協力して幼虫と触れ合うという活動を通して、生命のすばらしさについて感じたり、協力しあう大切さに気付いたり、自ら図鑑で調べたり、感じたことを言葉で伝え合ったりしながら、多様な力を伸ばしていきます。

今月は、いろいろな生き物と触れ合う機会や、食育に関する体験を豊富に計画しています。季節をたっぷりと味わいながら、充実した活動を展開していきたいと思えます。

自分で考えて行動できる力

本園には、「おかたずけの時間だよ♪」というメロディー付きの呼びかけがあります。先生も園児も活動の終わりに毎日何回も歌います。この歌を聴くと、自然と後片付けが始まります。でも、なかなか気持ちが向かないというような場面も見かけます。御家庭ではどうでしょうか。

そんなときの子供たちの心の中は「もっと遊びたい。」「せっかく作ったのに壊したくない。」「どう片付ければいいのか分からない。」「面倒くさい。」などの思いがあるようです。とは言え、なかなか片付けないと、ついつい大人が手を出したくもなります。こちらとしては、手伝っているつもりですが、そうすると子供は、自分がするものという意識が薄らぐと言われています。そういうとき、「自分でできそう？」などと声をかけて、少し手伝いながら、最後に元の場所にしまうところは、子供にしてもらい、自分でできたうれしさやきれいになった気持ちよさを積み重ねていくことが、片付ける力を身に付けることにつながるのではないかと考えています。

【5月の活動紹介】 栽培の日(収穫)



昨年度植えた玉ねぎとジャガイモが立派に実り、きりん組が収穫しました。

玉ねぎの収穫の日、柁城小の1年生(卒園児)が数名、自分たちの植えた野菜を収穫している様子を校庭から見守ってくれていました。

また、きりん組の皆さんがうさぎ組のときに植えたニンジンも、随分大きく育ってきました。間もなく収穫できそうです。

6月のカレー作り用にと自分たちで植えた野菜は豊作です。にじいろ農園で収穫した野菜で作ったカレーは、きっと特別な味がするのではないのでしょうか。



栽培の日(苗植え)



一人一鉢にミニトマトの苗を植えました。



年少・年中・年長組それぞれの畝に、サツマイモの苗を植えました。



親子読書(「ぐるんぱ」さんの読み聞かせ)

本年度最初の親子読み聞かせ会がありました。本の世界をとびきりの笑顔で楽しんだ子供たち、いろいろな色が一つになった、きれいなクレヨンのプレゼントももらいました。

本園の読み聞かせグループ「ぐるんぱ」は、昭和61年(1986年)発足で、今年で37年目になります。お母さんたちのボランティアで、長い間大切に引き継がれている会です。月に1回遊戯室で読み聞かせ会をさせていただきます。みんな「ぐるんぱ」をとても楽しみにしています。